

# ITU-R SG5 第 10 回会合報告書（案）

## 1 会議の概要

ITU-R SG5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

ITU-R SG5 第 10 回会合は、2015 年 7 月 20 日（月）及び 21 日（火）にスイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。

本会議には 26 カ国の主管庁等から 79 名が参加した。日本からは表 1 に示す 13 名が出席した。

議長は橋本 明氏（日本）であり、副議長は E.H.ABDOURAMANE 氏（カメルーン）、A.AL-AMRI 氏（サウジアラビア）、L.BUI HA 氏（ベトナム）、R.CASTANEDA ALVAREZ（メキシコ）、J.M.COSTA 氏（カナダ）、M.FENTON 氏（イギリス）、G.OSINGA 氏（オランダ）、V.POSKAKUKHIN 氏（ロシア）、W.SAYED 氏（エジプト）、I.K.SQUARE 氏（ギニア）、L.SUN 氏（中国）の 11 名である。

今回の会合においては、82 件の寄与文書について審議を行った。

勧告案については、表 2 に示すとおり、2 件が採択され、11 件が郵便による採択・承認同時手続きに、2 件が通常の郵便による採択及び承認手続きに、5 件が解決を求め RA-15 で審議することになった。また、表 3 に示すとおり、研究課題について、4 件の新研究課題案、6 件の研究課題改訂案並びに 5 件の研究課題の削除が郵便による採択・承認同時手続きに、12 件が決議 ITU-R 1-6 第 11 章に基づく編集上の修正となるとともに、報告案について、11 件の新報告案、1 件の報告改訂案並びに 1 件の報告削除案が承認された。決議については、1 件の新決議案及び 2 件の改訂決議案が、承認を求めため RA-15 で審議することになり、1 件の削除決議案が採択された。

寄与文書一覧は、巻末の表 4 のとおり、勧告文書の採択・承認手続きの手順については、巻末の図 1 のとおりである。

表1 SG5会合出席者一覧

氏 名	所 属
奥井 雅博	総務省 総合通信基盤局 電波部 衛星移動通信課 国際係長
圓谷 茉里	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
橋本 明	(株) NTT ドコモ 無線標準化推進室 室長
新 博行	(株) NTT ドコモ 無線アクセス開発部 担当課長
植田 由美	(国研) 情報通信研究機構 国際推進部門 国際連携推進室
大槻 信也	NTT アクセスサービスシステム研究所
大原 晃	KDDI (株)
大村 好則	(一社) 電波産業会 研究開発本部 移動通信グループ
小山 敏	(一社) 電波産業会 研究開発本部 ITS グループ
栗崎 由子	ワシントンコア
高山 泰一	(株) 三菱総合研究所
礪 琢巳	(株) NTT ドコモ 電波部
宮寺 好男	日本無線 (株)

表 2 SG5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時 手続		通常の郵便による 採択及び承認手続		決議 1-6 第 11 章に 基づく 編集上の 修正が承認された 勧告	通常 の勧 告廃 止承認手 続	解決を 求めるた め RA-15 で 審議		WP への 差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂		廃止	新	改訂	新	改訂
WP5A	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	0	0	1	2	0	0	0	0	2	1	0	0
WP5C	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0
JTG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	3	8	1	1	0	0	3	2	0	0
	2		11		2				5		0	

表 3 SG5 会合での研究課題、報告の採択・承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新期	改訂	決議 ITU-R 1-6 第 11 章に基づ く編集上 の修正	削除	新期	改訂	削除
WP5A	1*	5*	9	0	2	1	1
WP5B	1*	0	2	5*	3	0	0
WP5C	2*	0	6	0	1	0	0
WP5D	0	1*	1	0	5	0	0
合計	4	6	12	5	11	1	1
	27				13		

\*郵便による同時採択・承認（PSAA）プロセスで進められる。

## 2 審議の内容

### 2.1 WP5A (IMT を除く陸上移動業務等)関連

#### (1) WP5A における審議概要

【入力文書:5/242(WP5A 議長)】

WP5A 議長の J.COSTA 氏から SG5 会合の直前に開催された第 15 回 WP5A 会合の概要が Executive Report(Doc.5A/736)に基づき報告された。本会合では、ITU-R 新勧告案 1 件、ITU-R 勧告改訂案 1 件、ITU-R 新報告案 2 件、ITU-R 報告改訂案 1 件、ITU-R 報告の削除案 1 件、新研究課題案 1 件、研究課題改訂案 14 件を SG5 へ上程した。参加者数は 146 名であった。

#### (2) 勧告

WP5A 議長から、以下の新勧告案 1 件、改訂勧告案 1 件の提案があった。

- ① 新勧告案 ITU-R M. [V2X]「車車間及び路車間の無線インタフェース標準」の提案【入力文書:5/222(WP5A)】  
新勧告案が合意され、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとされた。
- ② 勧告 ITU-R M.1554-0「アマチュア無線従事者の最少資格要件」の改訂の提案【入力文書:5/221(WP5A)】  
勧告改訂案が合意され、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとされた。

#### (3) 研究課題

WP5A 議長から、以下の新研究課題案 1 件、研究課題改訂 14 件の提案【入力文書:5/230(WP5A)】があり、研究課題一覧及び各研究課題の新規及び改訂の内容であるとの説明があった。

研究課題改訂案 ITU-R 242-1/5「共用研究のために用いられる P-MP(Point-to-Multipoint)固定無線システムでの無指向性及び扇形アンテナの標準輻射パターン」は、WP5A 及び WP5C が共同で改訂し、両 WP が共同で責任を持つことになると述べられた。これに対し、米国が WP5D も IMT 観点から本課題に関係するとの指摘があり、また独から WP5A の議論において、WP5D も含まれるべきとの示唆があったとのコメントがあった。これらの議論にもとづき、WP5D にも本研究課題改訂案をアサインすることが合意された。

次の新研究課題 1 件及び研究課題改訂案 5 件が、コメントなく合意され、PSAA により同時採択・承認の手続きに進めることになった。

- ① 新研究課題案 ITU-R [THZ LAND MOBILE CHAR]/5「275-1 000GHz 周波数帯の陸上移動業務における技術及び運用特性についての研究」
- ② 研究課題 ITU-R 1-5/5「陸上移動業務に必要な干渉保護費及び最少電界強度」の改訂
- ③ 研究課題 ITU-R 48-6/5「アマチュア業務及びアマチュア衛星業務における技術及び周波数の利用」の改訂
- ④ 研究課題 ITU-R 209-4/5「災害通信の支援における移動業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務の利用」の改訂
- ⑤ 研究課題 ITU-R 241-2/5「移動業務におけるコグニティブ無線システム」の改訂  
本改訂案は、WP5A 及び WP5D の共同提案
- ⑥ 研究課題 ITU-R 242-1/5「共用研究のために用いられる P-MP(Point-to-Multipoint)固定無線システムでの無指向性及び扇形アンテナの標準輻射パターン」の改訂  
本改訂案は、WP5A、WP5C 並びに WP5D の共同提案

次の研究課題改訂案 9 件は、ITU-R 1-6 決議の 11 節の手続きで、編集上の更新とすることになった。

- ① 研究課題 ITU-R 7-7/5 「30-6000MHz の間の陸上移動業務の機器の特性」
- ② 研究課題 ITU-R 37-6/5 「特殊利用のためのデジタル陸上移動システム」
- ③ 研究課題 ITU-R 101-4/5 「陸上移動業務におけるサービス品質の要求条件」
- ④ 研究課題 ITU-R 205-5/5 「高度道路交通システム (ITS)」
- ⑤ 研究課題 ITU-R 212-4/5 「無線 LAN を含んだノマディック無線アクセスシステム」
- ⑥ 研究課題 ITU-R 215-4/5 「固定および／もしくは陸上移動業務における固定無線アクセスシステムの周波数帯域、技術特性及び運用要件」
- ⑦ 研究課題 ITU-R 238-2/5 「移動広帯域無線アクセスシステム」
- ⑧ 研究課題 ITU-R 250-1/5 「陸上移動業務における、広域エリアを対象としたセンサネットワーク及び M2M 通信に適用する移動無線アクセスシステム」
- ⑨ 研究課題 ITU-R 254-0/5 「補聴システム援助のための短距離公衆無線アクセスシステムの運用」

#### (4) 報告

WP5A から、以下の新報告案 2 件、改訂報告 1 件、報告削除 1 件の提案があった。

- ⑦ 新報告案 ITU-R M.[PPDR] 「PPDR に関する無線通信の要件及び目的」の提案【入力文書:5/263(WP5A)】  
コメントなく、承認された。
- ⑧ 新報告案 ITU-R M.[LOCAL\_COVERAGE] 「6GHz 帯以下の BWA システムにおけるローカルカバレッジ運用ガイドライン」の提案【入力文書:5/265(WP5A)】  
コメントなく、承認された。
- ⑨ 報告 ITU-R M.2228 「高度 ITS 通信」の改訂の提案【入力文書:5/223(WP5A)】  
WP5A 議長から、日本と韓国の最新の情報等を追記したとの説明があった。議長から本改訂報告案では、revision summary が報告外の位置にあり、冒頭に必要であるとの指摘があり、本改訂報告案を発行する際、第 1 ページに移すことが確認された。
- ⑩ 新報告 ITU-R M.2033 「PPDR に関する無線通信の要件」の削除の提案【入力文書:5/263(WP5A)】  
M.2033 は新報告案 M.[PPDR]に含まれることから、新報告案の承認と同時に M.2033 の削除が、コメントなく承認された。

## 2.2 WP5B (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

### (1) WP 5B における審議概要

【入力文書:5/243(WP 5B 議長)】

WP 5B 議長の J.METTROP 氏から SG 5 会合の直前に開催された第 16 回 WP 5B 会合の概要が Executive Report(Doc.5/243)に基づき報告された。本会合で ITU-R 勧告改訂案 3 件、ITU-R 新勧告案 3 件、ITU-R 新報告案 3 件、新研究課題案 1 件、研究課題削除案 5 件及び研究課題更新案 2 件を SG 5 へ上程した。参加者数は約 200 名であった。

### (2) 勧告

WP 5B から、以下の新勧告案 3 件及び勧告改訂案 3 件、イスラエルから勧告の編集上の修正案 1 件の提案があった。

- ① ITU-R 新勧告案 M.[WAIC\_CONDITIONS] 「4200-4400 MHz の周波数帯における航空

移動(R)業務として運用する航空機内データ通信(WAIC)システムを使用するための技術的条件」の提案【入力文書:5/226(WP 5B)】

議長よりセクション毎に審議され、修正なく新勧告案を合意し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることとされた。

② ITU-R 新勧告案 M.[AMS-CHAR-15GHZ]「14.5-15.35 GHz の周波数帯における航空移動業務システムのための技術特性及び保護基準」の提案【入力文書:5/252(WP 5B)】

ロシアより、本新勧告案に記載されている技術特性は既存の移動業務等へ影響を与える懸念があるため、本案はさらに検討が必要であるとコメントされた。議長より、正式に反対意見が述べられている場合、通常の手続きの適用や採択は出来ないと述べられた。米国より、何回かの会合で細かな修正が行われていることが述べられ、議題 1.6 に関連しているので決議 1 に基づいて先に進めたいとされた。議長より議題 1.6 に関連しているのか質問がされ、WP 5B 議長より WRC 議題に関連していることが確認された。WP 5B 議長からは、過去 2 回の会合に入力文書がなかったため、本新勧告案はかなり安定しているとされた。カナダは米国を支持し、RA で検討するために RA へ送付すべきとした。議長より、WRC に関連した勧告案で反対意見があるため、ITU-R 決議 1-6、10.2.1.2 項 a)により RA へ送付することとされた。

③ ITU-R 新勧告案 M.[VDES]「VHF 海上移動帯における VHF データ通信システムの技術特性」の提案【入力文書:5/256(WP 5B)】

議長より、文書 5/252 と同様にロシアがリザベーションしていたとされた。ロシアより、新勧告案に衛星業務への新分配に関わる記述が含まれているため、WRC-15 で新分配が決定するまでは本勧告案を審議するべきでなく、WRC-15 で新分配が決まった後に承認すべきであるとされた。フランスより、ロシアからは本新勧告案に関する寄与文書は提出されていないこと、他 WP や他 SG との間でリエゾン文書により衛星業務への新規分配に関して pfd 値を含めて合意済みであること、WP 5B ではロシア以外反対していないことなどを理由に、将来の分配の可能性があるため RA へ送って承認の審議をするべきだとされた。米国はフランスを支持し、RA へ送付すべきとした。我が国も RA への送付に合意した。議長より、ロシアの懸念を含めて ITU-R 決議 1-6、10.2.1.2 項 a)により RA へ送付することとされた。

④ ITU-R 勧告 M.1849「地上気象レーダーの技術及び運用面」の改訂の提案【入力文書:5/259(WP 5B)】

議長より、イスラエルからオフラインでエディトリアル修正が提案されているため、WP 5B 議長とカウンセラーとで調整することが提案され合意された。ロシアより、*considering c)*に関してコメントされ、*other services* は *systems in other services* と修正された。スウェーデンより、*general comment* として、アンテナ関連の図などの不鮮明さが指摘された。議長より、事務局は常に明瞭化及び明確化に務めているために、会合後に検討するのでカウンセラーとコンタクトを取るよう促された。これらの修正とともに勧告改訂案を合意し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることとされ。

⑤ ITU-R 勧告 M.493-13「海上移動業務で用いるデジタル選択呼出システム」の改訂の提案【入力文書:5/266(WP 5B)】

議長より、*scope* と *keyword* の順序を入れ替えるエディトリアル修正がされた。ロシアより、*recommends 1* の表現を *should be in full compliance with* と修正された。さらにロシアより、*recommends 6* に記載の *sufficient separation* の *separation* は何を指すのかの質問がされ、フランスよりより地理的な位置と回答され、*sufficient geographical separation* と修正された。これらの修正とともに勧告改訂案を合意し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることとされた。

⑥ ITU-R 勧告 M.541-9「海上移動業務におけるデジタル選択呼出装置を使用するための運用手順」の改訂の提案【入力文書:5/267(WP 5B)】

議長よりページ毎に審議がされ、特段のコメントなく勧告改訂案は合意された。本勧告は RR に参照引用されているため、(PSAA の手続きが取れないので) ITU-R 決議 1-6 の 10.2.2 項による採択及び 10.4 項による承認プロセスを進めることとし、承認される場合の時期は WRC 後になるだろうとされた。フランスより、本改訂案を WRC-15 前に承認できないと、RR に反映できないこと、ITU-R 勧告 M.493-13 改訂とともに適用できないと製造者による適用が遅れることなどが問題だとされ、RA での承認など、早く承認できる手続きはないのかが質問がされた。議長より、採択後の手順について、RA で承認できるかなど事務局に相談するとされ、ロシアが議長提案を支持した。事務局より、厳密には決議 1 の規定外だが、この手順の可能性を見つけたいと述べられた。議長は、WRC までに承認する緊急性を尋ね、緊急でないなら例外手順は不要だと述べた。フランスより、WRC 関連ではないが、ITU-R 勧告 M.493 に関連していることや、RR で参照引用されている勧告なので WRC-15 で RR 条文に反映させるため、郵便投票で採択した後に RA で承認したいと述べられた。

議長より、「Justification (正当な理由)」があれば RA 承認は可能とされ、本勧告は「安全」に関わるので緊急性が要求されること、ITU-R 勧告 M.491 と一体的に運用すべきことからこの理由を議事録に記載し、RA 承認の手続きを取るとされた。

⑦ ITU-R 勧告 M.1851「干渉解析に用いるための無線測位レーダーシステムアンテナパターン

の数学モデル」の編集上の修正の提案【入力文書:5/233 Annex 1(イスラエル)】イスラエルから編集上の修正案の紹介がされ、中国がイスラエルの修正案を支持した。WP 5B 議長より、次回 WP 5B 会合で本勧告改訂案の最終化をおこなう予定なので、本修正提案を WP 5B による次回改訂に含めて 1 回の改訂で済ませたいとされた。イスラエルは、ITU-R 決議 1-6 によると編集上の修正と通常の改訂は扱いが異なると述べ、Annex 1 の修正提案は誤記訂正なので、まずは編集上の修正をすべきであると述べた。スウェーデンは、本修正提案は Annex 1 のみだが、Annex 2 にも修正箇所があるため次回 WP 5B 会合で一緒に審議したいと述べた。議長は WP 5B 議長に、本修正提案は純粋な編集上の修正なのか確認を求め、WP 5B 議長は、大部分は編集上の修正であるが、次回の WP 5B 会合で扱いたいと述べた。議長は、次回 WP 5B 会合で審議することを提案し、イスラエルは了承した。議長より、中国が本提案を支持したことも含めて議事録へ記載するとされた。

### (3) 研究課題

WP 5B から、以下の新研究課題案 1 件、研究課題の編集上の修正 2 件及び研究課題削除 5 件の提案があった。

① 新研究課題案 ITU-R XXX/5「宇宙航空機のための運用及び無線規制に関する事項」の提案【入力文書:5/254(WP 5B)】

ロシアより、タイトルに用いられている space plane という用語は宇宙往還機だと誤解される可能性があるので、space を upper level of atmosphere へ置きかえる提案がされ、decides 1 の文章からも space は削除して planes のみの記載とすることが提案された。フランスより space plane の定義について質問がされ、議長より considering b) に記載されているとされた。ロシアより、ロシアや米国では既に space plane という用語を別の意味で用いているので considering b) の記載には問題があるとされ、議長により considering b) から commonly referred to as space planes が削除された。これら修正とともに新 Question 案を合意し、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることされた。

② 研究課題 ITU-R 62-2/5「航空移動業務及び航空無線航行業務への混信」の編集上の更新の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】

特段の議論なく承認された。

- ③ 研究課題 ITU-R 235/5「航空及び海上システムの保護基準」の編集上の更新の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】  
特段の議論なく承認された。
- ④ 研究課題 ITU-R 202-3/5「一次レーダシステムの不要輻射」の削除の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】  
特段の議論なく承認された。
- ⑤ 研究課題 ITU-R 225/5「HF 帯における不法無線局からの航空及び海上移動業務への混信」の削除の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】  
特段の議論なく承認された。
- ⑥ 研究課題 ITU-R 231/5「3 GHz 以上の帯域での広帯域航空テレメトリの運用」の削除の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】  
特段の議論なく承認された。
- ⑦ 研究課題 ITU-R 240/5「3-50 MHz の周波数範囲で運用する HF 地表波レーダシステムの技術及び運用特性とスペクトラム要件」の削除の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】  
特段の議論なく承認された。
- ⑧ 研究課題 ITU-R 249/5「航空機内データ通信 (WAIC) の技術特性と運用要件」の削除の提案【入力文書:5/243(WP 5B) Sec.2.1.4】  
特段の議論なく承認された。

#### (4) 報告

WP 5B から、以下の新報告案 3 件の提案があった。

- ① ITU-R 新報告案 M.[MAR-MSS]「海上安全の向上のための非静止軌道移動衛星システムの使用」の提案【入力文書:5/225(WP 5B)】

WP 5B 議長より、WRC-15 議題 1.16 に関連しているとされた。SG 5 議長より審議され、特段の質疑なく新報告案が承認された。

- ② ITU-R 新報告案 M.[VDES-SELECT]「VDES のためのチャンネルプラン選択」の提案【入力文書:5/251(WP 5B)】

WP 5B 議長より新報告案の紹介がされ、WP 5B ではロシアが反対しているとされた。ロシアより、本文書の基本的な内容は CPM レポートにも含まれていることなどにより、ITU-R 報告として発行することは不要だとして、WRC で情報として参照できるように（本会合で ITU-R 報告として承認せずに）議長報告に添付するべきだと述べられた。議長は、RA で審議するために報告案を議長報告に添付するのかの確認をロシアに求めた。ロシアは、RA での審議ではなく、WRC で参照するために議長報告に添付したいと述べた。議長は、SG 議長報告にそのような報告の添付はされないとした。ロシアは、「SG 議長報告」を「本 SG 会合議事録」と訂正し、報告の要旨を情報として議事録へ記載すればよいと述べた。フランスはロシアの提案に合意できないとして、本報告案は今次研究会期で VDES のチャンネルプランを検討し、その結果としての 4 つのチャンネルプランを比較した内容を含んでいるため、ITU-R 報告として承認することが WRC での審議に有用であると述べた。さらに、CPM レポートには記載されていない中国提案による新たなチャンネルプラン D も含んでいること、その他本報告案にしか記載されていない重要な情報を失いたくないこと、多くの主管庁が寄与して時間を掛けて作成した報告案であるがロシアは寄与していないことなどが述べられた。

イスラエルはフランスを支持し、RAへ送るべきだとしたが、議長により本文書は報告案なのでRAではなくSGで承認する事項であるとされた。米国は、本報告に対して異議を唱える寄与文書は入力されていないとして、本SG会合で承認すべきとした。議長により、ロシアのコメントを議事録に記載するとして、新報告案は承認された。

③ ITU-R 新報告案 M.[AIS.PROTECTION]「AIS チャンネルの保護及び AIS 技術を利用した追加チャンネルの保護のための RR 付録第 18 号におけるチャンネル使用方法の技術評価」の提案【入力文書:5/253(WP 5B)】

WP 5B 議長より新報告案の紹介がされ、WP 5B での審議で異議はなかったことが述べられた。ロシアより、第 2 項に記載の unacceptable effect とは何のことかの質問がされ、フランスより AIS チャンネルのブロッキングだと回答された。ロシアより、追加の文書を挿入する提案がされ、オフラインで調整の結果、unacceptable effects は blocking effects へ修正された。さらに第 2 項の in RR Appendix 18 の次に、WRC-12 gives the possibility to split the duplex channels 78, 19, 79 and 20 in simplex, in order to give more channels available to the ship stations. When using, by ship stations, the upper legs of these channels (2078, 2019, 2079 and 2020), previously used by the coast stations, a blocking effects will occurred, forbidding the use of the AIS channels.文を挿入する提案がされ、合意された。カナダより、本文書は報告なので、第 4 項の Administrations should を Administrations are encouraged と書き換える提案がされ、ロシアはカナダを支持したうえで、さらにニュートラルな would be appropriate と修正する提案をした。3 項目とも、It would be appropriate の書き出しに修正された。カナダより第 4 項のタイトルについて、本文書は勧告ではなくて報告なので suggestion を修正する提案がされ、議長により第 4 項のタイトルは Summary と修正された。イスラエルより、表 A1-2 の表内タイトル Receiver level を表 A1-1 に合わせて Receive level へエディトリアル修正する提案がされ、修正された。これらの修正とともに、新報告案は承認された。

## 2.3 WP5C(固定業務及び短波帯の固定・移動業務)関連

### (1) WP5C における審議概要

#### 【入力文書:5/244 (WP5C 議長)】

WP5C 議長の C.Glass 氏(アメリカ)から SG5 会合の直前に開催された第 15 回 WP5C 会合の概要が Executive Report (Doc.5/244) に基づき報告された。WP5C 会合では 66 件の入力文書が審議され、29 件の出力文書が作成された。そのうち、本会合では 12 件の文書を SG5 へ上程した(これに本議長報告(5/244)および WP5A との共同提案による課題修正案を含めて合計 14 件が提出された)。

### (2) 勧告

WP5C から、以下の新勧告案 1 件、改訂勧告案 5 件の提案があった。

① 新勧告案 ITU-R F.[FS DEPLOY]「固定業務の Point-to-point システムの配置シナリオ」の提案【入力文書:5/255 (WP5C)】

WP5C 議長より文書が紹介された。ロシアから、considering b) に関し、interference は業務ではなく、システムから発生するものであるため、interference from other services ではなく、「interference from systems of other services」とするよう、文言修正を提案があり、合意された。同様の修正は、ITU-R F.758-5 勧告改訂案にも関連のあることが指摘され、F.758 は「interference from systems of other services」とし、他方、[FS DEPLOY]では「interference from systems in other services」と文言修正を行なうことで合意された。他の箇所については、コメントは無く、上記の文言変更の



上、新勧告案が完成し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。

- ② 勧告 ITU-R F.1247-3 「2025-2100MHz および 2200-2290MHz 帯で運用される宇宙研究、宇宙運用、地球探査衛星業務との共用を促進するための固定業務システムの技術・運用特性」の改訂の提案【入力文書:5/227R1 (WP5C)】

SG5 議長より、WP7B により関連する勧告が改訂されたため、当該勧告の変更が必要だった旨が説明された。内容については特段のコメントは無く、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることとした。

- ③ 勧告 ITU-R F.1509-2 「25.25-27.5GHz 帯での固定業務における point-to-multipoint システムと衛星間業務との共用を促進する技術・運用要件」の改訂の提案【入力文書:5/228R1 (WP5C)】

SG5 議長より、5/227R1 と同様の理由により勧告改訂が必要となったこと、recognizing 部にはアルファベットを使うこととの指摘があり、エディトリアルに修正することが合意された。以上の修正の上、勧告改訂案が完成し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。

- ④ 勧告 ITU-R F.1249 「25.25-27.5GHz 帯での固定業務における point-to-point システムと衛星間業務との共用を促進する技術・運用要件」の改訂の提案【入力文書:5/229R1 (WP5C)】

SG5 議長より 5/227R1、5/228R1 と同様の理由により勧告改訂が必要となったこと、旧勧告からの変更箇所について、前掲の 2 文書で提案、承認された変更に加えて、Annex 2 の Appendix 1 に記載のプログラムが変更されたこと等の補足説明がなされた。本説明について、SG5 議長より、ページ毎にコメントが無いかの確認が行われたが、特段のコメントは無く勧告改訂案は完成し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。

- ⑤ 勧告 ITU-R F.758-5 「固定業務におけるデジタル固定無線システムと他業務におけるシステムやその他の干渉源との共用・両立基準の策定についてのシステム諸元および検討」の改訂の提案【入力文書:5/238 (WP5C)】

WP5C 議長より固定無線システムと他業務の共用検討を主題とするこの勧告は WP5C にとり重要な勧告であることが指摘された上で改訂の主目的はデータのアップデートと文言の明確化にあることが説明された。ロシアから、unwanted emission は service ではなく station から発生するものであるため、considering c)において、「systems of services」と言い換えるよう提案され、合意された。他の箇所についてのコメントは無かった。その結果、勧告改訂案が完成し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。

- ⑥ 勧告 ITU-R F.1777 「固定業務における共用検討で使用する TVOB、ENG、EFP のシステム特性」の改訂の提案【入力文書:5/257 (WP5C)】

WP5C 議長より、上記文書は 2013 年の作成以来改訂されておらず今回が初の改訂提案であることが説明された。同勧告の主な修正点は Annex 2 の表 1 にある 2.3GHz BAS 受信機の隣接チャンネル選択路の値を追加する点であった。SG5 議長より、ページ毎にコメントが無いかの確認が行われたが、特段のコメントは無く、勧告改訂案は完成し、PSAAによる同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。

### (3) 研究課題

WP5C から、以下の新研究課題案 2 件の提案があった。また、WP5A との共同提案により課題改訂案も 1 件作成された。

- ① 新研究課題案 ITU-R Q[ABOVE 275 GHZ FIXED CHAR]/5「275-1 000 GHz の周波数領域における固定業務の技術的・運用的特性」【入力文書:5/235 (WP5C)】

SG5 議長よりページ毎の審議が行われ、**修正なく新研究課題案を承認し、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。**

- ② 新研究課題案 ITU-R Q[HF ENVIRONMENT]/5「HF 帯環境改善のための HF 帯上空波通信局の技術・運用原理」の提案【入力文書:5/236 (WP5C)】

WP5C 議長が HF 帯の共同責任グループである SG6 への注意を喚起する必要性を指摘したほか、ロシアからの提案により SG3 (HF 帯の雑音を扱う) への注意喚起も求められたため、これらの記載をタイトルの脚注として記述することが合意された。また、ロシアが Environment というタイトルについて不適切との意見を表明した。これは WP5C 議長と協議の後、タイトルと decides の部分に若干の変更を加えることで合意された。また、イスラエルが、recognising の中に勧告 P.372 を追加することを提案し、合意されたが、イランの注意喚起により、recognizing の中に勧告名を入れることは不適切と指摘され、勧告 P.372 は noting の箇所に記載することとなった。これらの修正を施すことで、研究課題案が完成し、**PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることで合意された。**

- ③ 研究課題改訂案 ITU-R Question 242/5 「point-to-multipoint 用固定無線方式用セクタ型等アンテナの基準放射パターン」

「point-to-multipoint 用固定無線方式用セクタ型等アンテナの基準放射パターン」に関するテーマを扱う課題 Question 242/5 の改訂案が、WP5A と WP5C の共同責任研究課題として作成され、WP5A から SG5 に提出された (5/230)。

### (4) 報告

WP5C から、以下の新報告案 1 件の提案があった。

- ① 新報告案 ITU-R R F.[ENGSHAREDEPLOYMENT] 「固定・移動・放送業務に割り当てられた周波数帯における ENG システムとその他のシステムとの共用および両立性に関する問題」の提案【入力文書:5/258 (WP5C)】

SG5 議長によりページ毎の審議が行われ、多少のエディトリアルな文言修正を経て、承認された。

### (5) その他

WP5C に割り当てられた研究課題の現状報告【入力文書:5/260R1 (WP5C)】

WP5C 議長より本文書の一覧表には本 SG 会合において承認された新研究課題 2 件および WP5A と WP5C の共同提案により作成された研究課題改訂案 1 件が含まれている (上記 (3) 参照) ほか、既存の研究課題のうち 6 件についてエディトリアルな修正が提案されている

ことが説明され、特段の議論なく承認された。

## 2.4 WP5D (IMT) 関連

### (1) WP5D における審議概要

【入力文書:5/245 (WP 5D 議長)】

WP 5D 議長の Stephen Blust 氏から、前回の SG5 会合以降に開催された第 21 回及び第 22 回 WP 5D 会合の審議概要が、Executive Report (Doc. 5/245) に基づいて報告された。今回の SG5 会合に対して、勧告関連の 4 件、決議／意見関連の 4 件、報告関連の 5 件、研究課題関連の 3 件の検討結果が、SG5 へ上程されていることが説明された。なお勧告関連では、IMT の周波数アレンジメントに関する M.1036 勧告改訂案に反対するロシア、中国、及び 700MHz 帯の IMT 移動局の不要発射に関する新勧告案 M.[BSMS700]に反対するロシア、NDR/ZDF、BBC からの見解が Executive Report に添付されていることが併せて説明された。また IMT-2020 開発に向けた検討状況等、WP 5D における各種研究の進捗状況が報告された。

WP 5D 議長からの説明に対して、質問／コメント等はなかった。

### (2) 勧告

WP 5D から、以下の新勧告案 2 件、改訂勧告案 2 件の提案があった。

- ① 勧告 ITU-R M.2012 「IMT-Advanced の地上系無線インタフェースの詳細仕様」の改訂勧告案【入力文書:5/198 (WP 5D)】が採択され、郵便投票による承認手続きが行われることになった。なお WP 5D 議長、カウンセラにより、Key words が会議後に追加されることが併せて合意された。
- ② 勧告 ITU-R M.[IMT.VISION] 「IMT Vision - 2020 年及びそれ以降の IMT の将来開発に関する枠組み及び全体的な目的」の新勧告案【入力文書:5/199 (WP 5D)】が採択され、郵便投票による承認手続きが行われることになった。
- ③ 勧告 ITU-R M.1036 「地上系 IMT の周波数アレンジメント」の改訂勧告案【入力文書:5/190 (WP 5D)】については、WP 5D での議論の状況と同様であり、SG5 での合意形成が得られなかった。勧告改訂案の内容には、WRC-15 関連する事項もあるため、RA-15 へ送り、さらなる検討を行うこととした。各国の見解の概要は、以下の通りである。

	国名	主な主張
採択／承認を支持	韓国	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1 980-2 010/2 170-2 200 MHz における新たな周波数アレンジメントを M.1036 の改訂案へ追加することを支持。</li><li>• 技術的な問題というよりも手続き上の問題とされている。周波数アレンジメントと共存問題は別に扱うべき。</li></ul>
	カナダ、コロンビア、米国	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1 980-2 010/2 170-2 200 MHz における新たな周波数アレンジメントを M.1036 の改訂案へ追加することを支持。これらのアレンジメントは CITEL として合意したもの。</li><li>• 周波数アレンジメントの承認については、SG5 が責任を持っており、共存問題が解決するまで承認しないという進め方には反対。一部の国の共存問題の場合であり、既に分配／特定がされている帯域への周波数アレンジメントの追加には問題な</li></ul>

		<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 980-2 010 MHz 及び 2 170-2 200 MHz に関わる周波数アレンジメントを切り離して扱うことには反対。CPM15-2 でも、当該帯域での共存問題が議論となり、本議論を SG5 レベルで止めるべきではない</li> </ul>
	スウェーデン、独、仏、英、フィンランド	<ul style="list-style-type: none"> <li>WRC-15 前に、第一地域向けの 700MHz の新たな周波数アレンジメントを M.1036 改訂に反映すべき。</li> <li>周波数アレンジメントの検討と共存問題とは別問題として扱うべき。</li> </ul>
	ナイジェリア、カメルーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に分配／特定がされている帯域への周波数アレンジメントの追加には問題ない</li> </ul>
	UAE	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に分配／特定がされている帯域への周波数アレンジメントの追加には問題ない。勧告改訂は一体で議論すべきで、一部のアレンジメントを切り離して議論することには反対。</li> </ul>
採 択 / 承認に反対	中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>勧告 M.1036 のスコープにも共存問題に関する記載があり、周波数アレンジメントの検討と共存問題を切り離して議論すべきではない。</li> <li>WRC-15 議題 1.2 に関連するのは一部であり、関連しない部分については切り離して議論すべき。</li> </ul>
	ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の改訂案では、共存問題が関連する特別なケースが含まれており、WP 5D での技術議論も完全に完了していない。</li> <li>技術的な問題ではないという考え方には同意しない。地上系と衛星系の IMT は密接に関連している。周波数アレンジメントの導入が共存問題と関連する。SG4 からの合意を得る必要がある。</li> <li>WRC-15 議題 1.2 で議論されている 700MHz 帯の周波数アレンジメントに問題はなく、1 980-2 010 MHz 及び 2 170-2 200 MHz に関わる周波数アレンジメントが問題になっている。後者の問題は WRC-15 議題には関連しない。</li> </ul>

- ④ 勧告 ITU-R M.[BSMS700]「第一地域の 694MHz 以下の既存業務を保護するための 694-790MHz における IMT 移動局の OOB 制限値」の新勧告案【入力文書:5/192 (WP 5D)】については、WP 5D での議論の状況と同様であり、SG5 での合意形成が得られなかった。新勧告案の内容は、WRC-15 議題 1.2 に関連するため、RA-15 へ送り、さらなる検討を行うこととした。各国の見解の概要は、以下の通りである。

	国名	主な主張
採 択 / 承認を支持	第一地域の大多数の国	<ul style="list-style-type: none"> <li>新勧告案の内容検討は十分であり、採択／承認手続きを進めるべき。</li> <li>本件については、前回の SG5 会合の非公式会議で議論が行われ一度は合意が図られたものの、翌日の会合でやはり合意形成が図られなかった経緯があり。同じ議論が繰り返されている。</li> </ul>
採 択 /	ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>放送業務及び地上業務間の共存問題を扱う勧告と</li> </ul>

承認に 反対		<p>するのであれば、SG6 との連携をさらに行って新勧告案の内容を改善すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の業務の保護という観点からは、IMT 端末の不要発射がどのチャネル帯域幅であるかは関係がなく、OOBE など不適切な用語の利用もあり、技術的に問題が多い。1</li> <li>IMT 端末の不要発射レベルだけを扱うのであれば、既存の勧告 M.2071 の改訂を待てばよい。</li> </ul>
	イラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>新勧告案は WP 6A でのさらなる検討が必要。</li> </ul>
	バチカン	<ul style="list-style-type: none"> <li>新勧告案は WP 6A でのさらなる検討が必要。</li> </ul>

## (2) 研究課題

WP 5D から、以下の研究課題改訂 2 件、研究課題削除 1 件の提案があった。

- ① 研究課題 ITU-R 77-7/5「IMT の開発及び実現における発展途上国のニーズに関する検討」の決議 1-6 の Section 11 に基づくエディトリアル修正【入力文書:5/204(WP 5D)】が合意された。
- ② 研究課題 ITU-R 229-3/5「IMT の地上系コンポーネントのさらなる開発」の改訂研究課題案【入力文書:5/205 (WP 5D)】が合意され、PSAA による採択及び承認の同時手続きが行われることになった。なお、ロシアからの指摘により、*considering a)* の統計値について確認を行い、必要に応じて修正を行うことにした。
- ③ 研究課題 ITU-R 251/5「IMT システムの基地局向けの能動及び受動アンテナの技術／運用について」の削除【入力文書:5/245、Section 2.3 (WP 5D)】が合意され、PSAA による採択及び承認の同時手続きが行われることになった。

## (3) 報告

WP 5D から、以下の新報告案 5 件の提案があった。

- ① 報告 ITU-R M.[IMT.BEYOND2020.TRAFFIC]「2020-2030 年における IMT のトラヒック予測」の新報告案【入力文書:5/202 (WP 5D)】が承認された。なお、イスラエルからの指摘により、携帯電話契約数の統計値の最新情報について確認を行い、必要に応じて修正を行うことにした。
- ② 報告 ITU-R M.[IMT.AV]「地上系 IMT システムでサポートされる音声／映像伝送能力及びアプリケーション」の新報告案【入力文書:5/203 (WP 5D)】が承認された。なお、タイトルへの脚注により Study Group 6 への注意喚起を行うテキストが追記されることになった。
- ③ 報告 ITU-R M.[TDD.COEXISTENCE]「2 300-2 400MHz における TDD ネットワークの共存」の新報告案【入力文書:5/206 (WP 5D)】が承認された。
- ④ 報告 ITU-R M.[IMT.ARCH]「IMT ネットワークのアーキテクチャ及びトポロジー」の新報告案【入力文書:5/207 (WP 5D)】が承認された。なお報告内の文書リストから、Report ITU-R F.[FS.IMT/BB]を削除することになった。
- ⑤ 報告 ITU-R M.[IMT.ABOVE 6GHz]「6GHz 以上の周波数帯における IMT の技術的実現性」の新報告案【入力文書:5/208 (WP 5D)】が承認された。

## (4) その他

WP 5D から、以下の新決議案 1 件、改訂決議案 2 件、決議削除 1 件の提案があった。

- ① 決議 ITU-R [IMT.PRINCIPLES]「2020 年及びそれ以降の IMT の将来開発の進め方に

関する原則」の新決議案【入力文書:5/201 (WP 5D)】が採択され、承認を求め RA-15 へ上程することとなった。

- ② 決議 ITU-R 50「進行中の IMT の開発における Radiocommunication sector の役割」の改訂決議案【入力文書:5/209 (WP 5D)】が採択され、承認を求め RA-15 へ上程することとなった。
- ③ 決議 ITU-R 56「IMT の名称」の改訂決議案【入力文書:5/210 (WP 5D)】が、一部修正 (*recognizing b*) で Resolution ITU-R 9-3 の版数を削除) の後、採択され、承認を求め RA-15 へ上程することとなった。
- ④ 決議 ITU-R 17「既存ネットワークと IMT (IMT-2000 及び IMT-Advanced) との統合」の削除【入力文書:5/245、Section 2.2 (WP 5D)】が合意された。

なお、決議 ITU-R 57 及び意見 ITU-R 92 については、改訂／廃止を行わないで現状維持とすることが確認された。

また、勧告 M.1768 の改訂に関わるイスラエルからの提案【入力文書:5/197】は、WP 5D 会合へ送付し、次回の WP 5D 会合で議論を行うことにした。

## 2.5 JTG 4-5-6-7 (WRC-15 議題 1.1, 1.2) 関連

JTG で作成された新報告案のうち、SG4 と SG5 での共同承認が必要であった 2 つの新報告案 Report ITU-R [FSS-IMT C-BAND DOWNLINK]及び Report ITU-R [FSS-IMT C-BAND UPLINK]、SG4 で承認され、S シリーズの勧告として発行されることとなった。

## 2.6 SG5 のその他全体に関わる事項

### (1)ラポータの指名

第 1 日目のラポータ候補に米国から Amy Sanders 氏、第 2 目のラポータ候補に日本から新博行氏の指名があり、合意された。

### (2)他の SG からのリエゾン等

#### 1) SG1 とのリエゾン

- ① 欧州電気標準化委員会 (CENELEC) の活動に関する SG6 への情報提供のリエゾン、SG5 にはコピーの提供【入力文書:5/195(WP5A)】

SG1 の副議長としての Mazar 氏 (イスラエル) から、電力線通信 (PLT) は、上限 1GHz の周波数帯域幅で運用されるので、1GHz 以下で運用される IMT や放送システムを含む陸上アプリケーションに干渉するかもしれないとの背景説明があった。このリエゾン文書は、SG6 に注意を促すために送付されたもので、SG5 にはコピーである。情報提供としてノートされた。

- ② 意見 ITU-R 95 の削除に関する SG5 議長への連絡【入力文書:5/237(SG1 議長)】  
議長から、SG5 では既に削除に合意しており、SG1 から削除に合意する連絡であるとの説明があった。本リエゾンがノートされた。

#### 2) SG4 とのリエゾン

- ① 意見 ITU-R 95 の削除に合意の連絡【入力文書:5/250(SG4 議長)】  
議長から、SG4 も 5/237 と同様に意見 ITU-R 95 の削除に合意したとの説明があった。本リエゾンは情報提供としてノートされた。意見 ITU-R 95 の削除が、すべての関連 SG にお

いて合意されたことが確認された。

- ② WP5C からの WRC-15 AI 1.10(22-26GHz 帯における移動衛星業務への周波数分配に関する議題)に関するリエゾン【入力文書:5/261(WP5A)】  
WP5C 議長よりリエゾンの説明が行われた。次の 5/262 文書と合わせて議論することになった。
- ③ WP5C からの WRC-15 AI1.8(自動車アプリケーションのための 77.5GHz-78.0GHz における無線標定業務の一次分配に関する議題)に関するリエゾン 【入力文書:5/262(WP5A)】  
WP5C 議長から次の説明があった。  
5/261 文書は、SG4 において WRC-15 1.10 に関する共用検討の ITU-R 報告 M.[MSS SHARE]の承認の件の解決を要請する SG5 及び SG4 に注意を喚起するための WP5C から WP4C への回答リエゾンである。リエゾンでは、ITU-R 事務局による公式な発行の前にレポートのタイトルにフットノートを含めることを SG5 議長と SG4 議長の意見が一致するよう要請している。フットノートは、「WP の専門家のコメント得る機会がなく一部主管庁の最新の入力にもとづく新研究が含まれている。」との内容である。

5/262 文書は、SG4 において WRC-15 1.8 に関する共用検討の ITU-R 報告 S.[ESV]の承認の件の解決を要請する SG5 及び SG4 に注意を喚起する、WP5C から WP4A への回答リエゾンである。リエゾンでは、WP4A は、最終報告の作成において、WP5C からの意見を全く検討しておらず、WP5C は、そのような結論は SG5 及び SG4 の両議長の合意に従わないとの意見である。両 SG 間の将来の作業の前例とすべきではないとの内容である。

WP5C 議長より、WP4C 及び WP4A は WP5C で検討する期間を与えずに、WRC-15 議題 1.10 及び 1.8 に関する報告を SG4 会合で承認してしまった。次研究会期には、このようなことがないように SG4 と SG5 で合同研究を行いたいとの説明があった。

イランが、SG4 からのリエゾンプロセスが不適切と指摘するとともに、議題 1.8 に関する報告は一部主管庁の意見のみが反映されたものであり、実態に即していないとの懸念を表明した。

SG5 議長が、5/261 及び 5/262 リエゾン文書に関して、WP5C 議長の助力を得て、WP5C 及びイランの懸念内容を伝えること、及び、WP5C が要求する議題 1.10 に関する報告のタイトルにノート(本報告中一部の study は固定業務専門家の意見を反映していない)を追加することを SG4 議長に対して要請する文書を提案し、合意された。

### 3) SG6 とのリエゾン

研究課題 ITU-R 140/6 Global Platform に向けた放送業務の件【入力文書:5/216(WP5A)】  
米国から WP5D の新報告[IMTAV](audio visual capabilities and applications)に関する情報を SG6 に送付するリエゾンを送付するよう提案があった。イランが、正式文書を使って送付することに懸念を示し、イスラエルが米国提案を支持した。カナダは米国提案を支持し、新報告については BR から SG6 へノートを送付してもらう方法もあると代案を提示した。イランは、新報告 ITU-R M.[IMT.AV]は、SG5 会合のサマリーに記録されるので、SG6 に何も送る必要はないと再反論した。

SG5 議長からの助言にもとづき、SG6 に注意を喚起するため、報告のタイトルにフットノートを記載することが合意され、SG6 には何も送付しないことになった。WP5D 議長から、先の WP5D 会合で SG6 に報告の最終版のリエゾンが送付されたとのコメントがあった。

### 4) ITU-T のグループとのリエゾン

- ① ITU-T SG16 から、ITU-T の SG が関心のある ITU-R SG の活動一覧【入力文書:5/191(WP5A)】
- ② ITU-T TSAG から、ITU-R/T/D での情報共有【入力文書:5/196(WP5A)】

以上 2 件の寄書について、カナダから 5/191 には ITU-T SG5 の活動が記載されていないとの指摘があった。イランからは、TSAG や TDSAG によって提案されたトピックスの多くは合意できない、この件は先の RAG 会合で既に議論されたものであり、RAG によって修正されたものに従うべきだとの指摘があった。

カウンセラーから、ITU-R SG5 と ITU-T SG5 との間の現在の活動状況を含むこのリストについて、BR が既にコメントしていたとの説明があった。

SG5 議長から、カナダによって指摘された事項はサマリーに記載し、事務局はこの件について適切なアクションを行うこととされた。

- ③ ITU-T SG9 から、ANTs 規格の概要と作業計画【入力文書:5/220(WP5A)】
- ④ ITU-T SG15 から、ANT、Smart Grid、HNT 規格の概要と作業計画【入力文書:5/246(WP5A)】
- ⑤ ITU-T SG15 から、ANTs 規格の概要と作業計画【入力文書:5/247(WP5A)】
- ⑥ ITU-T SG15 から、HNT 規格の概要と作業計画【入力文書:5/248(WP5A)】  
以上 4 件の寄書に関し、議長から、SG15 からの情報提供であり WP5A でリエゾンバックしており、特に意見がないので、情報としてノートする。
- ⑦ WP5B 議長報告【入力文書:5/243(WP5B)】  
報告の section 2.1.7 で ITU-T の最新活動には「ITU-R で行うべき研究」に関する事項を扱っているものがあり、そのようなことがないように(警告の意味で)ITU-R 事務局長へレターを送付する必要があることから、WP5B 議長は文書を用意するとしたが、イラン等から Sector 間の協調に関して専門の Coordination team が設けられており、ITU-R 側の意見は RAG から同 team へ進言している、したがって ITU-R 事務局長へあらためてレターを出す必要はない、との意見が述べられた。議長は、WP5B 議長の提言を Summary record に記録することとした。

#### 5) ITU-D のグループとのリエゾン

- ① ITU-D SG2 から、電磁界の人体被ばくと作業計画【入力文書:5/188(WP5A)】
- ② ITU-D SG1 から、Question 8/1(デジタル地上波移行)の作業計画【入力文書:5/189(WP5A)】  
以上 2 件の寄書について、情報提供でありノートすることになった。

WP5A から、決議 9 に関する ITU-R/D joint group へのリエゾン【入力文書:5/264(WP5A)】  
WP5A 議長から説明があり、情報としてノートすることになった。

### (3) 人的障害に関するセクター間活動

周波数の人的障害、陸上無線局の周囲の安全な距離に関する ITU 内の活動【入力文書:5/232(イスラエル)】

イスラエルから、次の説明があった。

決議 176(2014 年 釜山 改版)により電磁界の人的被ばく及び測定については、WHO の前に ITU-T が人的障害に責任を持つことが明確に示されている。国毎に異なる上限が設定されている。関連する活動が ITU-T 及び ITU-D において継続されている。

議長は、イスラエルのマザールの貢献に感謝し、本トピックスの SG5 でのコンタクトポイントを依頼した。

### (4) その他

- ① 無線ネットワークに関するタリフの改善及び相互接続規則に関する寄書【入力文書:5/211(インドネシア)】  
インドネシアから、入力文書をプレゼンする者がおらず、情報としてノートされた。



- ② ITU-R 決議 60 も改定提案【入力文書:5/211(イスラエル)】  
 イスラエルから、Noting にエネルギー消費共有、Resolves 1 に網インフラにおける地上局の共用を追加する ITU-R 決議 60 改定の提案であるとの説明があった。  
 議長から、多くの SG がこの決議に関係しているが、提案にもとづく出力を生む準備がない状態である。議長から、イスラエルに RA に寄書を直接入力するよう助言があった。  
 カナダから議長の助言に合意し、インフラ共用のため検討すべきネットワークの強靱性の観点からの意見が提供された。AT&T は、インフラ共用は複雑であり、検討される多くの側面と要素があり、いくつかの心配が、この決議の改訂のために用いられる言語に注意する必要がある。  
 イスラエルは、SG5 ではなくイスラエルから RA に寄書を入力することに合意した。

## 2.7 SG テキスト及び関連する WRC

- ① ITU-R SG5 への課題割当【入力文書:5/1(Rev.1)】  
 ② ITU-R SG5 テキストの WP への割当【入力文書:5/2(Rev.1)】  
 ③ ITU-R SG5 の作業に関連する WRC 決議及び勧告【入力文書:5/5】  
 議長から、これらの文書はこの会合の結果をうけ更新され、カウンセラーは 2016 年初めに更新された文書を作成すると説明した。またもしこの会合後にエディトリアルな点やコメントがあればカウンセラーにコンタクトするよう SG5 メンバーに要請した。

## 3 今後の予定

2016 年以降のミーティングスケジュールは以下のとおり。

日程	会合名	場所
2016 年 2 月 23 日～3 月 2 日	WP 5D	北京
2016 年 5 月 9 日	SG 5	Geneva
2016 年 5 月 10 日～19 日	WP 5C	Geneva
2016 年 5 月 10 日～20 日	WP 5A, WP 5B	Geneva
2016 年 6 月 14 日～6 月 22 日	WP 5D	Geneva

以上

表4 SG5入力文書一覧

文書番号 5/	提出元	タイトル
5/187	Chairman, SG 5	Summary Record of the ninth meeting of Study Group 5 (10 - 11 November 2014)
5/188	ITU-D SG 2	Liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 7/2 to ITU-T Study Group 5 , ITU-R Study Group 1, ITU-R Study Group 5, ITU-R Study Group 6 and their relevant Working Parties on Q7/2 work items for the 2014 - 2018 study period
5/189	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 8/1 to ITU R SG 1 WP 1B, ITU-R SG 5 WP 5D, ITU-R SG 6 WP 6A, ITU-T SG 9, ITU-T SG 16 on ITU-D work on transition from analogue to digital broadcasting 2014-1017
5/190	WP 5D	Liaison statement to Working Party 4C (copy for information to Study Groups 4 and 5) - Coexistence issues between the satellite and terrestrial components of IMT and Revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/191	Director, BR	Liaison statement on ITU-R Study Groups of interest to ITU-T Study Groups
5/192	Chairman, SG 6	Note to ITU-R Chairman Study Group 5 - Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[BSMS700
5/193	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Draft reply liaison statement to Working Party 5D (copy for information to Study Groups 4 and 5) - Coexistence issues between the satellite and terrestrial components of IMT and Revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/194	WP 4C	Reply liaison statement to Working Party 5D (copy for information to Study Groups 4 and 5 and Working Party 4B) - Coexistence issues between the satellite and terrestrial components of IMT and the proposed revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/195	SG 1	Liaison statement for information to ITU-R Study Group 6 and ITU-T Study Group 15 (copy to ITU-R Study Groups 5 and 7 and ITU-D Study Group 2) (Question ITU-R 221/1) - Liaison activities with CENELEC
5/196	ITU-T TSAG	Liaison statement on ITU Inter-Sector coordination
5/197	Israel (State of)	Service types and their peak bit rates
5/198	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2012-1 - Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications_Advanced (IMT-Advanced)
5/199	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.VISION - IMT Vision - "Framework and overall objectives of the future development of IMT for 2020 and beyond"
5/200	WP 5D	Liaison statement to Working Party 4C (copy for information to Study Groups 4 and 5 and Working Party 4B) - Coexistence issues between the satellite and terrestrial components of IMT and the proposed revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/201	WP 5D	Draft new Resolution ITU-R [IMT.PRINCIPLES - Principles for the process of future development of IMT for 2020 and beyond
5/202	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.BEYOND2020.TRAFFIC] - IMT Traffic estimates for the years 2020 to 2030
5/203	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.AV - Audio-visual capabilities and applications supported by terrestrial IMT systems
5/204	WP 5D	Editorial update to Question ITU-R 77-7/5 - Consideration of the needs of developing countries in the development and implementation of IMT

文書番号 5/	提出元	タイトル
5/205	WP 5D	Draft revision of Question ITU-R 229-3/5 - Further development of the terrestrial component of IMT
5/206	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[TDD.COEXISTENCE] - Coexistence of two TDD networks in the 2 300-2 400 MHz band
5/207	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.IMT.ARCH - Architecture and topology of IMT networks
5/208	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.IMT.ABOVE 6 GHz] - Technical feasibility of IMT in bands above 6 GHz
5/209	WP 5D	Draft revision of Resolution ITU-R 50-2 - Role of the Radiocommunication Sector in the ongoing development of IMT
5/210	WP 5D	Draft revision of Resolution ITU-R 56-1 - Naming for International Mobile Telecommunications
5/211	Indonesia (Republic of)	Contribution paper for improvement on tariff and interconnection regulation related with Radiocommunication Network
5/212	SG 4	Reply liaison statement to Study Group 5 (copy for information to Working Party 4B, 4C and 5D) - Coexistence issues between the satellite and terrestrial components of IMT and the proposed revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/213 Rev.1	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-4 - Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunication (IMT) in the bands identified for IMT in the Radio Regulations (RR)
5/214	WP 5D	Draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700] - Specific out-of-band emission limit of IMT mobile stations operating in the frequency band 694-790 MHz for protection of existing services in Region 1 in the frequency band below 694 MHz
5/215	Chairman, SG 5	Note to Chairman of Study Group 6 - Draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700]
5/216	SG 6	Question ITU-R 140/6
5/217	Russian Federation	Issues in relation to the draft revision of Recommendation ITU-R M.BSMS700]
5/218	Russian Federation	Issues in relation to the draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/219	China (People's Republic of)	Proposals on the revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/220	ITU-T SG9	Liaison statement on new versions of the Access Network Transport (ANT) standardization overview and work plan (reply to SG15 LS216)
5/221	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1544-0 - Minimum qualifications of radio amateurs (Question ITU-R 48/5)
5/222	WP 5A	Draft new Recommendation ITU-R M.V2X] - Radio interface standards of vehicle-to-vehicle and vehicle-to-infrastructure communications for Intelligent Transport System applications (Question ITU-R 205/5)
5/223	WP 5A	Draft revision Report ITU-R M.2228 - Advanced intelligent transport system radiocommunications (Question ITU-R 205-/5)
5/224	Iran (Islamic Republic of)	Action to be taken for Document 5/214 - Draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700]
5/225	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.MAR-MSS] - Use of non-geostationary orbit mobile satellite systems to enhance maritime safety

文書番号 5/	提出元	タイトル
5/226	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.WAIC_CONDITIONS] - Technical conditions for the use of wireless avionic intra-communication systems operating in the aeronautical mobile (R) service in the frequency band 4 200-4 400 MHz
5/227 (Rev.1)	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1247-3 - Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the space research, space operation and Earth exploration-satellite services operating in the bands 2 025-2 110 MHz and 2 200-2 290 MHz (Question ITU-R 118/7)
5/228 (Rev.1)	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1509-2 - Technical and operational requirements that facilitate sharing between point-to-multipoint systems in the fixed service and the inter-satellite service in the band 25.25-27.5 GHz (Questions ITU-R 118/7)
5/229 (Rev.1)	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1249-3 - Technical and operational requirements that facilitate sharing between point-to-point systems in the fixed service and the inter-satellite service in the band 25.25-27.5 GHz (Question ITU-R 118/7)
5/230	WP 5A	Draft revision of Questions
5/231	Korea (Republic of)	Adoption of the revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/232	Israel (State of)	RF Human hazards - ITU intersectoral activities; safety distance around a terrestrial station
5/233	Israel (State of)	Proposed revision of Recommendation ITU-R M.1851
5/234	Israel (State of)	Actions proposed to RA-15 on the ITU-R Resolutions of concern to Study Group 5, Revision of Resolution ITU-R 60 - Reduction of energy consumption for environmental protection and mitigating climate change by use of ICT/radiocommunication technologies and systems
5/235	WP 5C	Draft new Question ITU-R ABOVE 275 GHZ FIXED CHAR/5 - Technical and operational characteristics of the fixed service in the frequency range 275-1 000 GHz
5/236	WP 5C	Draft new Question ITU-R HF ENVIRONMENT] /5 - Technical and operational principles for HF sky-wave communication stations to improve the HF environment
5/237	Chairman, SG 1	Note to Chairmen of Study Group 5 - Suppression of Opinion ITU-R 95
5/238	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.758-5 - System parameters and considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference
5/239	Germany (Federal Republic of), Finland, France, Sweden, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	Support of adoption of the draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-4
5/240	Austria, Bahrain (Kingdom of), Benin (Republic of), Botswana (Republic of), Burkina Faso, Cameroon (Republic	Adoption of draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700]

文書番号 5/	提出元	タイトル
	of), Croatia (Republic of), Czech Republic, Denmark, Djibouti (Republic of), Egypt (Arab Republic of), Finland, France, Germany (Federal Republic of), Hungary, Italy, Jordan (Hashemite Kingdom of), Kuwait (State of), Lesotho (Kingdom of), Lithuania (Republic of), Luxembourg, Mali (Republic of), Mozambique (Republic of), Netherlands (Kingdom of the), Niger (Republic of the), Nigeria (Federal Republic of), Norway, Poland (Republic of), Portugal, Qatar (State of), Saudi Arabia (Kingdom of), Slovenia (Republic of), South Africa (Republic of), Spain, Sudan (Republic of the), Sweden, Switzerland (Confederation of), Tunisia, Turkey, United Arab Emirates, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, Zambia (Republic of), Zimbabwe (Republic of)	
5/241	Canada, Colombia (Republic of), United States of America	Progression of the draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-4 - Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT) in the bands identified for IMT in the Radio Regulations (RR)
5/242	Chairman, WP 5A	Executive Report of the meeting of Working Party 5A
5/243	Chairman, WP 5B	Executive Report of the meeting of Working Party 5B
5/244	Chairman, WP 5C	Executive Report of the meeting of Working Party 5C
5/245	Chairman, WP 5D	Executive Report of the meeting of Working Party 5D
5/246	ITU-T SG 15	Liaison statement on the latest versions of the Access Network Transport (ANT), Smart Grid and Home Network Transport (HNT) standards overviews and work plans
5/247	ITU-T SG 15	Liaison statement on the latest versions of the Access Network Transport

文書番号 5/	提出元	タイトル
		(ANT) standards overview and work plan
5/248	ITU-T SG 15	Liaison statement on the latest version of the Home Network Transport (HNT) standards overview and work plan
5/249	SG 4	Liaison statement to Study Group 5 - Approval of two draft new reports developed by Joint Task Group 4-5-6-7
5/250	Chairman, SG 4	Note to Chairmen of Study Groups 1, 5 and 6 - Suppression of Opinion ITU-R 95
5/251	WP 5B	Draft new Report ITU-R .VDES-SELECT - Selection of the channel plan for a VHF data exchange system
5/252	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.AMS-CHAR-15GHZ] - Technical characteristics and protection criteria for aeronautical mobile service systems in the frequency range 14.5-15.35 GHz
5/253	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.AIS.PROTECTION - Technical assessment of RR Appendix 18 - Channel usage to protect automatic identification system channels and also protect any additional channels that may be allocated to support automatic identification system technology applications
5/254	WP 5B	Proposed Question on operational and radio regulatory aspects for space planes - Question ITU-R XXX/5 - Operational and radio regulatory aspects for space planes
5/255	WP 5C	Draft new Recommendation ITU-R F.FS DEPLOY - Deployment scenarios for point-to-point systems in the fixed service (Question ITU-R 252/5)
5/256	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.VDES - Technical characteristics for a VHF data exchange system in the VHF maritime mobile band
5/257	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1777 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the fixed service for use in sharing studies
5/258	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.ENGSAREDEPLOYMENT - Sharing and compatibility issues between electronic news gathering and other systems in frequency bands allocated to the fixed, mobile and broadcasting services
5/259	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1849
5/260 (Rev.1)	WP 5C	Status of the Questions within Working Party 5C
5/261	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 4C, Study Group 4 and Study Group 5 (with information to Working Parties 3M, 4A, 4B, 5A, 5B, 7A, 7B, 7C and 7D) - WRC-15 agenda item 1.10
5/262	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 4A, Study Group 4 and Study Group 5 - WRC-15 agenda item 1.8
5/263	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.PPDR "Radiocommunication objectives and requirements for Public Protection and Disaster Relief (PPDR)"
5/264	WP 5A	Liaison statement to ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9 on work items during the 2014-2017 study period (copy for information to ITU-R SG 1, SG 5, SG 6 and their relevant working parties on work items pertinent to WTDC Resolution 9)
5/265	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.LOCAL_COVERAGE - Operational guidelines for the deployment of broadband wireless access systems for local coverage operating below 6 GHz
5/266	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.493
5/267	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.541 - Operational procedures

文書番号 5/	提出元	タイトル
		for the use of digital selective-calling equipment in the maritime mobile service
5/268	BR, Study Group Dpt.	List of documents issued (Document 5/187 - 5/268)

図1 勧告文書の承認プロセス

